

がん情報サロンボード

2017/04/12

がん情報サロン 富田 明人

～松江市立病院がんセンター

一気に春の陽気になり桜前線は北上している。今日は快晴で気温も15℃近くまで上がり、満開の桜を見ると気持ちも晴れやかになる。

毎週火曜日に開催される市立病院のがんサロンに出かけた。市立病院は懸案であった「がんセンター」は4月から本格的に稼働を始め市民、患者・家族の期待も大きい。

2008年がん対策基本法が制定されがん患者が居住する地域にかかわらず適切ながん治療を受けることができるよう施策を講じてきた。この度松江市立病院に新しい放射線機器が導入され、外来化学療法室も充実、手術や放射線治療後に起こる症状の一つであるリンパ浮腫の治療にリンパ浮腫外来を新設した。運動はがんの進行を抑えると言われている。最先端のフィットネス機器と専門スタッフによるフィットネスルーム（primo）が開設され緩和ケア外来、スキンケア外来、口腔ケア外来も総合的に整備されて市民の期待も大きい。がん医療に総合的に対応できる施設として山陰では唯一だと思う。

がん医療も予防、治療から患者のその後のQOLに関心が高まってきた。最新式の放射線治療装置の導入で高度放射線治療も受けることができるようになった。今後は市民の関心を高めるためにもリーフレットの整備や市民公開講座などで周知することが必要であると思います。地域の医療スタッフとの連携も重要な課題です。地域医療の向上を期待したい。

山陰で初めて導入した高度放射線治療装置

トウルー・ビーム STx

サイバーナイフ



(富田)